

# ccNSO関連報告

ICANN報告会

2010年8月5日

株式会社 日本レジストリサービス (JPRS)

堀田 博文 [hotta@jprs.co.jp](mailto:hotta@jprs.co.jp)

## ccNSOに関連した会合

- 6月20日（日）
  - ccNSO Council Workshop
- 6月21日（月）
  - ccNSO Tech Day
  - Joint ccNSO/GNSO Council Lunch
- 6月22日（火）
  - ccNSO Members Meeting
  - Joint ccNSO/GAC Meeting
- 6月23日（水）
  - ccNSO Members Meeting
  - ccNSO Council Meeting

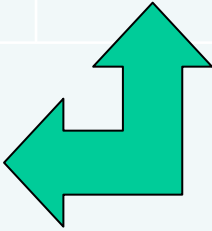
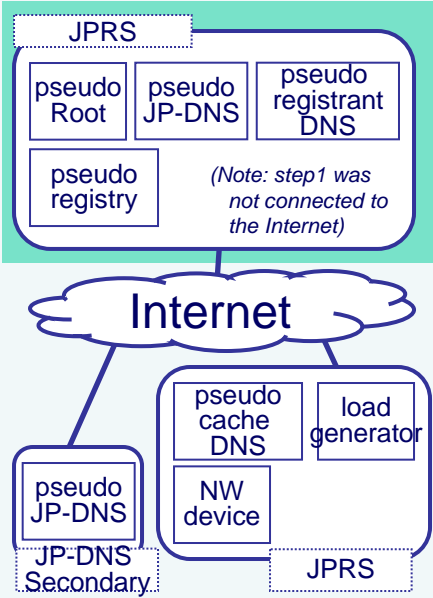
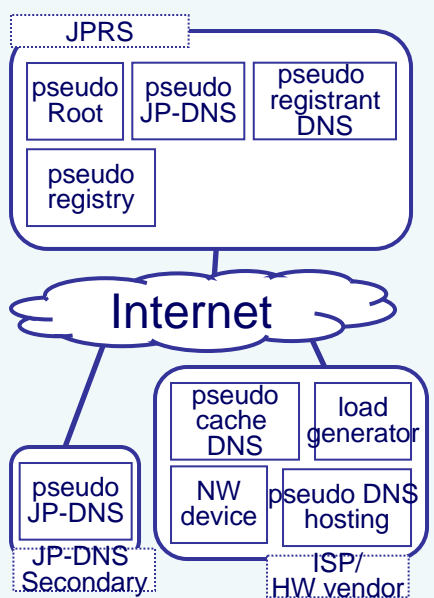
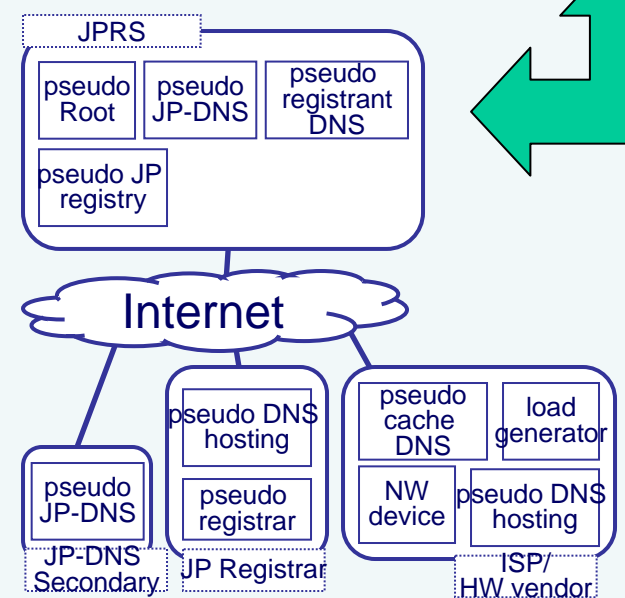
# ccNSO 会合 アジェンダ(1)

- ccNSOメンバ会合 – 6月22日(火)
  - 09.00-09.05 ICANNイシュー紹介
  - 09.05-10.00 ccTLDからICANNへの資金的貢献について
  - 10.00-10.45 ICANN理事会からのアップデート
  - 11.00-11.30 IANAからのアップデート
  - 11.30-12.00 マーケティングについて
    - .za、.my
  - 12.00-12.20 Anti-Phishing Working Groupからの報告
  - 12.20-12.50 法執行について
  - 16.00-16.15 ワイルドカードに関する検討グループ報告
  - 16.15-16.30 インシデント・レスポンス計画WG報告
  - 16.30-17.30 委任・再委任WG報告

## ccNSO 会合 アジェンダ (2)

- ccNSO メンバ会合 – 6月23日(水)
  - 09.00–10.30 ccNSO 評議委員の役割と責務について
  - 10.45–11.45 ccNSO レビュー結果
  - 11.45–11:55 ccTLD 地域連合からの報告
    - AFTLD、APTLD、CENTR、LACTLD
  - 11.55–12.45 DNSSEC について
    - ENISA、.cr、jp
  - 14.00–15.30 戦略計画について
- ccNSO 評議委員会 3月10日(水)
  - 16.00–17.00

# DNSSEC technical test / evaluation

	Step1/2	Step3/4	Step5	Step6
Schedule	Oct' 09 ~ Dec' 09	Jan' 10 ~ June' 10	Jul' 10 ~ Nov' 10	Aug' 10 ~
Description	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Fundamental function test</li> <li>- Behavior check of zone transfer</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Behavior check of caching DNS servers (full resolvers)</li> <li>- Behavior check of network devices</li> <li>- Listing of check items of ISPs/HW vendors</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- Behavior check of DS registration</li> <li>- Accumulation of operation experiences</li> </ul>	<p><b>Merging with DNSSEC Japan testbed</b></p> 
Participants	JPRS, JP Secondary DNS operators	JPRS, JP Secondary DNS operators, ISPs, HW vendors	JPRS, JP Secondary DNS operators, ISPs, HW vendors, JP Registrars	
Diagram				

Output /  
C Remarks

Publication of results

DNSSEC evaluation guidelines for participants

Publication of results/outputs

# IDN ccTLDの動向 – Fast Track

- Fast Trackでの申請と委任
  - ブリュッセル会合までに31の文字列(19の言語)申請
  - 2010年4月22日のICANN理事会にて、4つのIDN ccTLD(エジプト、ロシア、サウジアラビア、アラブ首長国連邦)の委任が承認
  - 2010年6月25日のICANN 理事会にて、以下の漢字ccTLDの委任が承認
    - 中国、中國: CNNIC
    - 台灣、台湾: TWNIC
    - 香港: HKIRC
- synchronized IDNccTLDs
  - 中国と中國、台灣と台湾は、等価ccTLD(ラベルが異なる2つのTLDを全く同一の空間)として扱うことを条件に承認
- 6月25日理事会後に、CDNC(中国語ドメイン名コンソーシアム)は祝賀パーティーを開催
  - ICANN 理事を含めた関係者が立食パーティーに参加

# Synchronized IDN ccTLDsに至る背景(1)

- 第2レベルドメイン以降でのvariant問題
  - 中国語圏で、variant(等価文字)の定義が必要であることが提起される
  - (第2レベル以降での)IDNラベルについてのvariant取扱いの定式化
    - ICANNがIDN実装ガイドラインを導入 2003年
    - IANAがIDN Language Tableのレポジトリ設置・公開 2003年
    - IETFがIDN Language Tableに関するRFC発行 2004年
      - 使用可能文字の定義、variantの定義
  - レジストリレベルで、variantをもつ等価ラベルを
    - 登録されないようブロック
    - 同一ラベルとして名前解決するようDNS設定
    - etc.
  - 「variantは同じ文字として扱うことが必須」が中国語圏の主張

## Synchronized IDN ccTLDsに至る背景(2)

- IDN ccTLDでの扱い
  - 中国語圏のccTLDは、variantを持つTLDが同時に委任され、同じものを指すことが必須と主張 (IDNC WG)
  - IDNC WG の結果を受けて作られたFast Trackの規定では、
    - **desired variant strings for a request will be allocated to the requester** (if successfully evaluated). This does not mean that the desired variant TLD will be delegated in the DNS root zone. It will be allocated to the requester in order to be reserved to the entitled manager **for potential future delegation** in the DNS root zone.
  - 中国語圏のccTLDは、これに賛同し、Fast Track開始
  - CNNICとTWNICはそれぞれ、等価なTLDのペアをIDN ccTLDとして申請
    - 等価でないと困るという十分な理由を説明
    - DNS上等価扱いするための手順を提案(現時点では、DNS上等価扱いする技術的な解法がないため、レジストリ、レジストラ、登録者等が努力して解決)
  - 上記説明と手順提案が合理的であれば、synchronized IDN ccTLDsとして同時委任することをICANNが決定



# IDN ccTLDの動向 – PDP

- 課題検討(PDP WG1) …進行中
  - 課題リストが確定し、中身の検討開始
    - IDN ccTLDは、どういう国や地域単位に与えるのか?
    - 各国の各言語の各スクリプトに対しいくつのIDN ccTLDを与えるか?
    - スクリプトに対する権利が誰かに属するということはあるか?
    - IDN ccTLD文字列リストは権威ある第三者が決めるべきか、
    - 一文字列に複数の提案があったとき、提案への反対意見があった時、紛争があったとき、の解決ポリシーやプロセスはどうあるべきか?
    - ICANNへの支払いはどうあるべきか?
    - etc.
- 定款変更検討(PDP WG2) …開始
  - 定款に変更が必要か
    - ccNSOのメンバの定義
    - etc.

# IDN時代のccTLDの定義は？

- ・ これまで
  - ccTLDとは、ISO-3166の2文字コード(ASCII)を持つTLD
- ・ IDN ccTLDが導入されると
  - 「IDN ccTLD はccTLD である」ということは当然であるとの暗黙の認知
  - ただし形式的な定義は未定
- ・ ASCII のみによる国名やその略称はccTLDか？
  - 「自国公式言語文字による国名」であるTLDがccTLDだとすると、.australiaはccTLDということになるが....
  - 国名は新gTLD 第1ラウンドではgTLDとして扱われないことになった
- ・ IDN ccPDP
  - IDN ccTLDはどういう意味でccTLDなのか、に基づくccNSOメンバーのあり方議論
- ・ どこかで議論(将来)
  - ccTLDとは何か

# Q & A